

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年 2月 23日

公表: 令和6年 2月 29日

事業所名 放課後等デイサービスらじびあ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | | 6 | 施設基準は満たしていますので、活動内容や属性に応じて環境を調整しています。パーテーションや機の配置などを工夫し、感染症対策等もしています。 | 正直、プログラム内容によっては狭さを感じているところですが、これからも限られた空間を有効に使いながら、安全に配慮し、室内運動や動きのあるイベントも楽しめるように工夫したいと思います。今後、移転も検討していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 6 | | 学校教諭、保育士、社会福祉士等を配置し多面的な視点から支援をしています。 | お子様、保護者様に対して、それぞれの専門性を活かした関わりをしていきたいと思ひます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 3 | 3 | 手すり等の工夫はしていますが、成長とともに、一部受け入れが難しいお子さんもでてきてしまっています。 | 玄関に階段や段差などもありますがリハビリの一環として、有効利用したいと考えています。複数の職員で安全を確保しながら継続して利用していきたいと思ひます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | | 全職員で情報共有をし、お子様の現状についてこまめに話し合いをしています。随時必要な支援について保護者様と連携して調整しています。 | これからも主担当、副担当を中心に情報の集約をし、PDCAサイクルを考慮してチームで話し合いながら取り組みを進めていきたいと思ひます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | 保護者アンケートで頂いたご意見を集約し、全職員で共有後、具体的な改善を進めています。 | 内容を精査し、お子様、保護者様とより良い関わりができるよう、継続して取り組んでいきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | | ホームページ上で公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 6 | | 第三者評価の活用も検討していきたいと思ひます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | 実践的な実地訓練等を含めた社内研修を充実させ、日々スキルアップをしています。外部研修はオンライン研修を多く活用しています。 | これからもお子様の成長、社会の動向、事件事故などのニュースに敏感にアンテナを張り、継続して様々な内容の研修の実施・受講したいと思ひます。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | お子様本人のニーズを大切に、保護者様、相談支援専門員、学校、医療機関、福祉サービス機関等と可能な範囲での連携を図り、計画書の作成を行っています。 | これからもお子様のニーズを一番に考え、保護者様や各関係機関と連携しながら、様々な課題に対する効果的な支援を一緒に考えていきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | 事業所内で統一したアセスメントツールを活用しています。 | 他事業所とも相談しながら、わかりやすく、使用しやすいアセスメントツールについて検討して参ります。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | 都度、職員会議を開催し、専門性を発揮しつつ、チームとしてプログラムを立案しております。 | 今後も継続して参ります。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | お子様の特性、成長、精神状態、達成度等に応じて、柔軟にプログラムを展開しています。 | これからもお子様の現状に合わせて柔軟にプログラムの調整をしていきたいと思ひます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | 平日の放課後利用と休校日の1日利用に応じて活動内容を調整しています。長期休業前には必ず職員会議を開き、個別目標の再確認をしています。 | これからも利用時間に応じた効果的な支援について、お子様のニーズを大切にしながら、保護者様と連携して課題設定をしたいと思ひます。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | お子様の特性や成長に応じて、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成しております。 | 今後も、お子様の成長や性格、精神状態、達成度など様々な視点から効果的な活動を導入していきたいと思ひます。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | パート職員さん等出勤時間にばらつきがある場合にも朝や昼に、職員全員が情報を共有できるように心がけています。 | 今後も継続して参ります。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 3 | 3 | 支援終了後、職員間で話し合い、気づいた点を共有しています。しかし、送迎に時間がかかる場合もあり、実施できない場合や皆が参加できない場合もあり、難しさも感じます。その場合は、次の日の朝に打ち合わせを行っております。 | 職員間で効率的に情報共有が行えるように、工夫して参ります。支援終了後の振り返りが難しい場合は、翌日の朝などに実施しております。また、職員ノートや連携記録などで情報共有をしていますので、これからも継続して参ります。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | 記録の書き方については職員に対して研修を通しての全体指導や個別指導を行っています。 | これからも全職員が十分な情報を記録できるよう研修や個別指導を通してスキルアップをしていきます。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | 定期的にモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直しをしています。 | 計画書の更新時期について一覧表を作成し、事務室の全員が見られる場所に掲示しています。遅れや漏れがないようにこれからも気を付けると共に、必要に応じて、半年を待たずに計画書の更新をしていきます。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 6 | | 基本活動のA～Eに取り組んでおります。 | 「ガイドライン」に基づく考え方や具体的支援の方法等については、効果的な活動は継続します。また常に新しい活動を模索し、取り入れられるように心がけています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | 管理者が参加しています。また、担任制を導入していますので必要に応じて主担当や副担当も参加しています。 | 担当制にすることで、情報の効果的な集約や職員のスキル向上に結び付いています。このまま継続して行きたいと思えます。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | | 適時、保護者様を通して、教頭先生や担任の先生と情報共有を行っております。 | 学校によっては教育と福祉の連携を拒む場合があります。また、不登校児童の保護者様からは学校に不信感を抱き、学校との関わりを望まないという要望を受けることもあります。お子様や保護者様の要望に応じて、継続して、連携できるように努力していきたいと思えます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | | 保護者様を通して、主治医等と連携し、支援の場面に生かしています。 | 保護者様を通して、必要な情報の聞き取りをし、また、こちらが伺いたいことを質問してもらおう等して、支援の場に生かしたいと思えます。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | | 必要に応じて担当者会議等で情報を得るように心がけております。 | 必要に応じて、園等に対して働きかけていければと思っております。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 6 | 6 | | 現時点では該当するおこさんがおりません。要望があれば、情報提供したいと思えます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 3 | 幅広く情報収集をし、助言を受けたいと思えます。 | 必要に応じて、より密に連携していければと思っております。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 6 | 6 | | 感染症対策や保護者様の中には望まないという意見もありましたので、これまでは実施しておりません。今後は状況に合わせて対応していきたいと思えます。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 2 | 4 | 機会が得られた場合は、参加しています。 | まだまだ不十分に感じるため、より積極的に参加していきたいと考えています。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | 電話、送迎時、連絡帳、活動時の写真、要望アンケート、支援面談、担当者会議等を通して、お子様の達成度や継続課題等についての相互理解を深めています。 | 今後も、継続して参ります。 |

| | | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|---|
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 5 | 1 | お子様の特性や発達段階に応じたコミュニケーションスキルの育成や学習支援、学校との関わり方等の提案・助言をしています。 | お仕事をされている保護者様も多いので、なかなか機会を作ることに難しさを感じますが、電話、送迎時、連絡帳、支援面談等でこれからも継続していきます。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | | 契約時に、説明させていただいております。 | 限りのある時間の中ではありませんが、継続して、わかりやすい説明を心掛けて参ります。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | 電話、送迎時、連絡帳、支援面談等でお子様の特性や発達段階に応じた助言と支援を行っています。 | 保護者様の困り事についてこれからも親身になって対応していきます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 6 | | 父母の会の結成を望まない保護者様もいらっしゃいますので、状況やニーズに合わせて対応していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | 契約時に、相談・苦情対応窓口について説明しております。また、マニュアルを整備し、迅速に対応できるようにしております。 | 今後も電話、連絡帳、面談などを通して丁寧に対応し、迅速な問題解決をしていきたいと思っております。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | | 毎月1回広報を発行し、活動内容、行事予定、必要な情報等を発信しています。子どもたちの活動の雰囲気がわかるように写真も掲載していますが、個人が特定できないように加工をしています。 | 活動内容、新しい取り組み、社内研修、子どもたちの楽しんでいる様子がよく伝わると保護者様にも仰っていただいているので、これからも続けていきたいと思っております。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | | 契約時に、個人情報の取扱いについて説明しております。 | 職員への周知も、さらに徹底して参ります。退職者にも、個人情報の漏洩には十分に注意するよう誓約書に署名してもらっています。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | お子様、保護者様の特性に合わせて意志疎通のしやすい方法を検討し、導入しております。 | 今後も様々なツールを用いて特性に合わせた伝達方法を検討・導入していきたいと思っております。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 6 | 感染症予防の観点と事業所のキャパから、地域の皆様を招待する行事をなかなかまだ計画できていません。 | 地域や社会の動向も鑑みながら検討していきたいと思っております。活動の声掛けはしていきたいと思っております。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | | マニュアルを作成し、それを基軸に社内研修を実施しています。また、保護者様にも連絡帳や広報等で周知しています。 | 各種マニュアルをその都度見直し、打合せ時や研修を通して、保護者様への周知徹底を図っていきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | 半年に1回はお子様と一緒に避難訓練を行っています。 | 様々なシチュエーションを想定して対応力を培っていききたいと思っております。 |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | 社内研修や外部研修を受け、研鑽を積んでします。また、虐待に関する時事問題について、その都度職員とのミーティング等で取り上げ、情報共有や事例検証をしています。 | 「何が虐待に当たるのか」という定義について、事例検討や社会の動向等を通してさらに学びを深めていきたいと思えます。また職員同士で相互チェックをし、虐待を看過しない職場環境を作りたいと思えます。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 6 | これまで、身体拘束が必要な例はありません。マニュアルは整備しております。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | アセスメント時に、保護者様より教えて頂いております。 | その内容を厳守し、対応させて頂いております。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | ヒヤリハット事例集を作成し、共有しております。 | 職員全員で共有し、具体的な改善案を考え、迅速に問題解決をしたいと思えます。 |